



Pilab Co.,Ltd との戦略的パートナーシップ締結 に関するお知らせ

当社及び当社の100%子会社であるミライコイン株式会社は本日、ブロックチェーン技術開発を手掛け、ビットコイン運用サービスである「Bifrost」（以下、「Bifrost サービス」という）を提供する株式会社Bifrostの親会社であるPilab Co.,Ltd（以下、「パイラボ社」という）と戦略的パートナーシップを締結することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 戦略的パートナーシップ締結を行う背景・理由について

当社は、2025年6月17日付「保有暗号資産運用事業の開始に関するお知らせ」にて開示の通り、事業推進体制が整備されたことをもって、暗号資産を単に保有し続けるのみならず、暗号資産特有の相場環境や暗号資産そのものの性質を利用した運用を行うことを公表しております。これら事業推進の一環として、パイラボ社との戦略的パートナーシップを締結するものです。

パイラボ社はブロックチェーン技術開発・サービス提供企業として、Bifrost サービスを提供しています。Bifrost サービスは、ビットコインを活用した次世代金融インフラを構築する独自ネットワークBifrost Networkを活用したプロジェクト（以下「2. Bifrost サービスの概要」を参照下さい）であり、本サービスを通じてビットコインの運用を可能とするBTCFi サービスを提供しています。このBifrost サービスを活用することで、当社が予定している保有暗号資産運用事業のうち、保有するビットコインのステーキングに近いサービスでの収益化が可能となります。

Bifrost Networkには、すでに国内外の主要企業がNetwork Validator¹（検証者）として参加する等、信頼性の高いネットワークとして成長することが見込まれています。当社としても、Network Validatorとして参加し、実績を積むとともに知見・ノウハウを蓄積することで、将来的に第三者が保有するビットコインを預かる上での顧客獲得競争力になると考え、保有暗号資産運用事業における金融ソリューションの一つとして、パイラボ社が相応しいパートナーであると判断したものです。

¹ Network validator（ネットワーク・バリデーター）

ブロックチェーン上で取引の正当性を検証し、ブロックを生成する役割を担うノード（参加者）。ネットワークの安全性と分散性を支える重要な存在。



2. Bifrost サービスの概要

Bifrost サービスは、EVM(Ethereum Virtual Machine)および非 EVM 環境の両方をサポートし、断片化された流動性を一ヶ所に集めて管理するクロスチェーン²技術に特化したネットワークの Bifrost Network (バイフロストネットワーク)を開発するプロジェクトです。

EVM および非 EVM 環境の両方をサポートするマルチチェーン Layer 1 ネットワークであり、分散型アプリケーション (DApp) の開発に最適化されたインフラを提供しています。

これらの Bifrost Network を活用した現在の主力サービスは「BTCFi」と呼ばれる、ビットコインを預け入れることで収益化が可能なステーキングに近いサービスです。

Bifrost サービスの CCCP³ (Cross-Chain Communication Protocol) および BRP⁴ (Bitcoin Relaying Protocol) は、すべての取引が分散型レイヤーによって検証される仕組みを提供します。

また、Bifrost サービスのバリデータネットワークは完全に分散化されており、信頼性の高い取引検証を実現しています。またマルチシグ⁵ (Multi-Sig) を活用した Vault システム⁶によって、ネットワーク内の資産を安全に保管できる仕組みを整えています。

この仕組みを通じて、Bifrost サービスは高いセキュリティと完全な分散性を兼ね備えたネットワークを構築し、ブロックチェーンベースの金融サービスを確立しています。

3. 戦略的パートナーシップの概要

(1) Bifrost の Network Validator (検証者) への参画

当社は保有暗号資産運用事業を今後推進していくにあたり、WEB3 に関する知見を有した役職員を擁しております。これら知見に基づき、Bifrost の Network Validator としてノードを構築・運用し、Bifrost Network の分散化を強化することで、Bifrost サービスの日本市場における信頼性拡大に貢献いたします。

² **クロスチェーン (Cross-Chain)**

異なるブロックチェーン同士で資産やデータを相互にやり取りする技術。たとえば、ビットコインとイーサリアム間での連携などが該当する。

³ **CCCP (Cross Chain Communication Protocol)**

異なるブロックチェーン間の通信を可能にするプロトコル。データやコマンドを安全かつ信頼性の高い形で送受信するための仕組み。

⁴ **BRP (Bitcoin Relaying Protocol)**

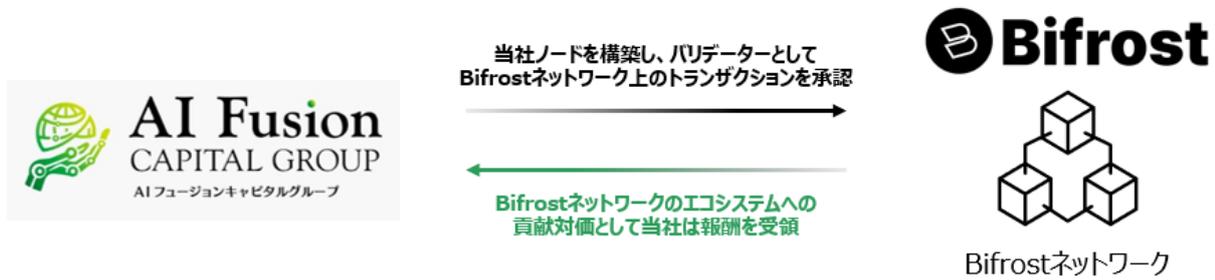
ビットコインのブロック情報を他のブロックチェーンへ転送・証明するためのプロトコル。他チェーン上でビットコインの取引を参照・活用できるようにする。

⁵ **マルチシグ (Multisig/マルチシグネチャ)**

複数の署名 (秘密鍵) を必要とする暗号資産の管理手法。資産の送金や操作に複数人の合意を必要とすることで、セキュリティを強化する。

⁶ **Vault システム (Vault System)**

デジタル資産を安全に保管・管理するための仕組み。多層のアクセス制御や自動化された運用ルールなどを備えている場合が多い。



(2) BTCFi サービスの活用

Bifrost サービスは、EVM⁷(Ethereum Virtual Machine)、および非 EVM 環境に対応した、高分散性及びセキュリティが確保されたレイヤー1⁸ネットワークを利用したビットコイン流動性活用金融サービス「BTCFi」です。ビットコインを透明かつ安全に運用する手段として、暗号資産の利回りを獲得する分散型金融サービスを提供しており、当社は保有暗号資産運用事業の一環として本サービスを活用いたします。



4. Bifrost サービスの概要

Bifrost サービスは、EVM(Ethereum Virtual Machine)および非 EVM 環境の両方をサポートし、断片化された流動性を一ヶ所に集めて管理するクロスチェーン⁹技術に特化したネットワークの Bifrost Network (バイフロストネットワーク)を開発するプロジェクトです。

EVM および非 EVM 環境の両方をサポートするマルチチェーン¹⁰Layer 1 ネットワークであり、分散型アプリケーション (DApp) の開発に最適化されたインフラを提供しています。

⁷ EVM (Ethereum Virtual Machine)

イーサリアムのスマートコントラクトを実行する仮想マシン。EVM 互換を持つブロックチェーンでは、イーサリアム向けに開発されたアプリケーションをそのまま動かすことが可能。

⁸ レイヤー1 (Layer 1)

ブロックチェーン技術の基盤となる一次レイヤー。ビットコインやイーサリアムなど、独自のブロックチェーンネットワーク全体を指す。スケーラビリティやセキュリティなどの核心機能を提供する。

⁹ クロスチェーン (Cross-Chain)

異なるブロックチェーン同士で資産やデータを相互にやり取りする技術。たとえば、ビットコインとイーサリアム間での連携などが該当する。

¹⁰ マルチチェーン (Multi-Chain)

単一のプロジェクトやプラットフォームが複数のブロックチェーン上で機能を提供すること。ユーザーは複数のネットワークをシームレスに利用可能。

Bifrost サービスの CCCP¹¹ (Cross-Chain Communication Protocol) および BRP¹² (Bitcoin Relaying Protocol) は、すべての取引が分散型レイヤーによって検証される仕組みを提供します。

また、Bifrost サービスのバリデータネットワークは完全に分散化されており、信頼性の高い取引検証を実現しています。またマルチシグ¹³ (Multi-Sig) を活用した Vault システム¹⁴によって、ネットワーク内の資産を安全に保管できる仕組みを整えています。

この仕組み通じて、Bifrost サービスは高いセキュリティと完全な分散性を兼ね備えたネットワークを構築し、ブロックチェーンベースの金融サービスを確立しています。

5. パイラボ社の概要

(1) 名称	Pilab Co, Ltd
(2) 所在地	ソウル特別市 城東区 聖水一路 8 ギル 5、B 棟 201、202、301、302、401、402 号
(3) 代表者の職名・氏名	代表取締役社長 朴道鉉 (パク・ドヒョン)
(4) 事業内容	1. ソフトウェアの開発および提供事業 2. ソフトウェア関連の研究業務およびコンサルティング業 3. ソフトウェア関連の研究開発事業 4. 上記に付随する一切の事業
(5) 資本金	約 1,555 万円 (141,428,500 韓国ウォン)
(6) 設立年月日	2017 年 9 月 7 日
(7) 大株主および持株比率	朴道鉉 (パク・ドヒョン) 他 5 名 (71.3%)

¹¹ **CCCP (Cross Chain Communication Protocol)**

異なるブロックチェーン間の通信を可能にするプロトコル。データやコマンドを安全かつ信頼性の高い形で送受信するための仕組み。

¹² **BRP (Bitcoin Relaying Protocol)**

ビットコインのブロック情報を他のブロックチェーンへ転送・証明するためのプロトコル。他チェーン上でビットコインの取引を参照・活用できるようにする。

¹³ **マルチシグ (Multisig/マルチシグネチャ)**

複数の署名 (秘密鍵) を必要とする暗号資産の管理手法。資産の送金や操作に複数人の合意を必要とすることで、セキュリティを強化する。

¹⁴ **Vault システム (Vault System)**

デジタル資産を安全に保管・管理するための仕組み。多層のアクセス制御や自動化された運用ルールなどを備えている場合が多い。

6. ミライコイン株式会社の概要

(1) 商号	ミライコイン株式会社
(2) 所在地	東京都港区六本木1丁目9番9号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 澤田大輔
(4) 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 暗号資産の取得及び保有 2. 暗号資産を使った資産運用 3. 暗号資産に関連又は付随する業務全般 4. 株式、通貨、外国為替、その他金融商品等に対する投資 5. 金融業 6. 投資助言・代理業 7. 前各号に附帯又は関連する一切の事業及び投資
(5) 設立時出資金	2,000万円
(6) 設立年月日	2025年1月30日
(7) 大株主及び持株比率	AIフュージョンキャピタルグループ株式会社 100.0%

7. 今後の見通し

本件による当社の当面の連結業績への影響は軽微です。



以上